

## 11 課「地域社会の中で」

### <行動目標>

地域の日本人に、自分の最近の生活や今困っていることなどについて話したり、地域の活動に参加したりすることができる。

### <2つのスモールトピック>

#### ST1 「慣れてくると」

自分の習慣の変化や困っていることなどを話すことができる。

#### ST2 「スポーツチームに入って」

人から聞いたことを伝えることができる。また、スポーツの応援ができる。

### 話してみよう

『できる日本語初中級』の11課のテーマは「地域社会の中で」です。日本の生活の中で、周囲の人とのやり取りも増えてくると思います。住んでいる地域での活動に参加して、参加した人たちと交流できる機会もあるでしょう。そのような交流の機会を通じて、ネットワークを広げていってほしいと思います。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。初中級では2枚のイラストと1枚の写真になっています。どのイラスト、写真を使うかは学習者に合わせて選んでください。全部使う必要はありません。『できる日本語 初中級教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』のp.70にそれぞれの写真やイラストを用いた場合の質問例があるので、参考にしてみてください。イラストを見ながら、見たことがあるか、参加したことがあるかなどを聞いてみてください。イラストから過去の経験を思い出す学習者がいるかもしれないので、イラストをきっかけに学習者の経験を引き出して、話を聞いてみてください。きっといろいろな話が聞けると思います。

【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

### 聞いてみよう

【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。【話してみよう】でテーマについて、学習者の興味が引き寄せられていたら、CDを聞くときには、学習者は聞くことに集中できると思います。既習の学習項目や語彙が増えていることや効果音が使われていることから、どんな状況かがつかめると思います。

## ST1 慣れてくると

できること：自分の習慣の変化や困っていることなどを話することができる。

### チャレンジ！

状況イラスト：カルロスさんは会社からの帰り、道で近所の知り合いの日本人、佐藤さんと話しています。



1



コマイラスト：佐藤さんがカルロスさんに日本の生活について聞いています。カルロスさんは自分で料理を作ることが大変だと話しています。また、日本へ来てから運動をしなくなったので、佐藤さんに運動ができる場所について聞いています。佐藤さんは地域のサッカークラブを紹介してあげると言っています。

ここでの学習項目は「V ようになります (習慣の変化)」です。初中級 1 課の ST2 で「V ようになります (能力の変化)」が提出されています。

2 枚目のコマイラストで佐藤さんが言っている「カルロスさんは料理を作りますか」の吹き出しを指して、学習者に言ってもらいます。そのあと、カルロスさんの吹き出しのイラストを指すと、学習者が「国では料理をしませんでした。でも、今は料理を作ります/作っています」などとチャレンジしてくれると思います。「対比」の「は」は初級の 11 課で学習しています。国では作らなかったけれど、日本へ来てから作るようになったのだということに注目してもらいます。3 枚目のコマイラストでは、「国ではスポーツをしましたが、日本ではしません」「私はサッカーをしたいです」などと言ってくれます。すらすら言えない場合は、手伝いながら教師と一緒に言って、学習者に発話を促してください。

ここでは、2枚目のコマイラストに「Vようになります（習慣の変化）、3枚目のイラストに「Vなくなります（習慣の変化）」が出ています。

**学習項目** Vようになります  
Vなくなります

言ってみよう 別冊1

練習1は「Vようになりました」、練習2は「Vなくなりました」の練習になっています。ここにある以外にも先生方がキューを加えてください。練習のあとで、学習者自身のことを言う練習もあるといいと思います。「(将来の) こと」、「ボランティア」「～に興味を持つ」「彼」「彼女」が新出語彙です。

言ってみよう 本冊1

例の会話を見る前に、もう一度、【チャレンジ!】のイラストを見てみてください。状況を思い出すことができます。

まずはクラス全体に拡大イラストを見せながら、発話を促します。そのとき、教師がAのセリフを言うと、学習者はBになりきって、イラストを見ながら言いやすくなると思います。クラス全体で何と言ったらいいか確認するとき、新出語彙にも注目してもらってください。ここでは「物価」「外食する」「～代」「節約する」が新出語彙です。特に「外食する」はイラストで示されているだけなので、板書してしっかりメモするように伝えることも大切です。クラス全体で何と言ったらいいか確認できたら、ペアで練習します。

この会話でAとBのスピーチスタイルが異なっている理由もわかると思います。練習の際には、二人が友達だったらどのように話すかということを考えてもいいでしょう。

『わたしの文法ノート初中級』p.96の2番では「Vようになります（能力の変化）」との違いが確認できる問題があります。「能力の変化」と「習慣の変化」の違いがしっかりとわかったかどうか、この問題でも確認できます。

こんなふうに

このようなプリントを用いて、意味の違いを整理してみました。

◆ <sup>まえ</sup> 前、できません→ <sup>いま</sup> 今、できます！	第1課
<b>可能形、わかる、聞こえる、見える</b> <small>かのうけい</small>	ようになります／ようになりました
・ 日本語で電話がかけられるようになりました。	
・ 最近、日本人の友だちの話が聞き取れるようになりました。	
・ 日本語の新聞が読めるようになりたいです。	
・ 日本人の友だちとペラペラ話せるようになりたいです。	
・ 最近、ニュースの日本語が少しわかるようになりました。	
◆ <sup>まえ</sup> 前、します → <sup>いま</sup> 今、しません	第11課
<sup>まえ</sup> 前、しません→ <sup>いま</sup> 今、します	
<b>動詞-辞書形</b> <small>どうし じしょけい</small>	ようになります／ようになりました
<b>動詞-ない形</b> <small>どうし ないけい</small>	なくなります／なくなりました
・ 国ではぜんぜん料理を作りませんでしたが、今は料理をするようになりました。	
・ 自分で洗濯や掃除をするようになりました。	
・ 野菜をたくさん食べるようになりました。	
・ 日本へ来てから、ぜんぜんスポーツをしなくなりました。	
・ あまり外でご飯を食べなくなりました。	

### チャレンジ！

状況イラスト：パクさんは近所の八百屋さんで買い物をしています。



2



コマイラスト：パクさんは近所の八百屋で買い物をしています。八百屋のおじさんがパクさんにアルバイトについて聞いています。パクさんは新しいアルバイトを始めてから間もないので、まだ慣れていません。

コマイラストのパクさんの吹き出しを指しながら、こんなやり取りができると思います。

T:この人は誰ですか？

L1:パクさんです。

L2:あっ、新しいアルバイトですね。

T: (「？」や「」を指さして) これは？

L3:大変です。

L1:まだ慣れてません

などと学習者とやり取りしたあとで、

T:そうですね。パクさんは新しいアルバイトを始めてから、まだ時間が短いです。それから？ (と言いながら、パクさんの下の吹き出しを指す)

L2:敬語があまり上手じゃありませんから大変です。

というようなことをチャレンジしてくれます。そこまでできたら、ここの学習項目「～Vたばかりです」が入った吹き出しを指さしながら、教師は「じゃここをよく聞いてください」などと言って、CDを聞きます。

**学習項目** Vたばかりです

### 言ってみよう 別冊②

練習1では単文での練習です。練習2では、「Vたばかり」と「ので」「のに」を一緒に用いた複文での練習です。10課ST2で提出されている「Vたところです」との違いも、【言ってみよう 別冊】②か【言ってみよう 本冊】②が終わったあたりで、紹介してください。練習の際には、イラストを見ながらどんな日本語が使えるかを、学習者と一緒に考えるといいと思います。例えば②の解答例は「引っ越ししてきたばかりなので、まだ町のことがわかりません」となっていますが、「引っ越ししてきたばかりなので、スーパーの場所がわかりません」「引っ越ししてきたばかりなので、どこで買い物をするかわかりません」なども考えられます。生活のことを話すとき、「Vたばかり」は、「ので」とも「のに」とも、よく一緒に使えるな、使えるようになってほしいなと思って、練習に加えました。「のに」は初中級10課ST1で学習したばかりなので、いい復習にもなります。

### 言ってみよう 本冊②

②の練習では、相手に自分のことについて聞かれて、まだ慣れない気持ちを相手に言う内容です。「少し大変です」の理由は自分で考えて言います。(●)  
ペア練習の前にクラス全体で何と言ったらいいか確認するとき、学習者からいろいろな経験が出てくると思います。

チャレンジ！

状況イラスト：ナタポンさんは学校から帰ったとき、アパートの入り口の前で、管理人さんの田中さんに会いました。



3



コマイラスト：田中さんがナタポンさんに勉強の様子を聞いています。ナタポンさんはアルバイトをしながら勉強するのは大変だと言っています。それを聞いた田中さんはナタポンさんに同情の気持ちを表しています。来週の試合を思い出した田中さんが、ナタポンさんたちの野球チームに応援に行くと言って、励ましています。

【チャレンジ！】では、教師がイラストを示して学習者に何と言ったらいいかチャレンジしてもらいますが、その際、教師からヒントになる日本語があるといいと思います。また、CD を聞くときに、【チャレンジ！】をしてすぐに聞くのではなく、学習項目に注目ができるように、教師が学習者に聞くポイントを示すとわかりやすくなります。例えば、1 枚目のコマイラストでナタポンさんの吹き出しを「アルバイトをします。勉強します。疲れます」と学習者が言ったら、教師が「アルバイトをします。勉強もします。大変です。疲れます」などと言って、「ここを聞いてください」と注目してもらってから CD を聞きます。

学習項目 Vながら

言ってみよう 別冊3

「Vながら、…」を言うとき、「ながら」の前と後ろではどちらがより大切なことだと思っているか、確認してください。別冊の練習をするときに、人によっては「ながら」の前件と後件が反対になることもあり得ることを紹介するといいいと思います。また他のキューも

増やして練習すると思います。


言ってみよう

本冊③

日本での生活について話している会話です。最後のAはBの話を聞いたあとで、相手を思いやったコメントを言うようにしてください。

やってみよう

ST1の「できること」は、「自分の習慣の変化や困っていることなどを話すことができる」です。

 2つの会話から「前と今とは変わったことは何か」を聞き取ります。聞いたあとで、学習者に合わせて、以前の様子、今の様子をそれぞれ答えてもらうのもいいと思います。

■ ロールプレイではありませんが、ここでは記者とインタビューに答える人になって、「日本へ来る前と今の生活の違い」について話します。

「記者と留学生」でもいいし、「近所の人と留学生」でもいいと思います。

こんなふうに

学生新聞の記者になりきって、相手にインタビューをするという活動にしてみました。その際に使ったシートです。

第 11 課 ST 1 やってみよう

みなさんは学生新聞の記者です。「日本に来る前と今の生活の違い」について記事を書きます。学生にインタビューしましょう。



日本の生活にはもう慣れましたか。  
日本へ来てから何か生活がかわりましたか。  
日本語の勉強は怎么样了。アルバイトは？休みの日は？  
.....

インタビューした人	
メモ	



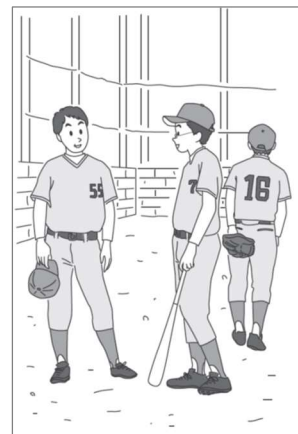
## ST2 スポーツチームに入って

できること：人から聞いたことを伝えることができる。また、スポーツの応援ができる。

### チャレンジ！

状況イラスト：

ナタポンさんは野球チームに入っています。これから、練習をします。練習の前にナタポンさんと監督が話しています。



1



コマイラスト：これから練習が始まります。チームメイトの佐藤さんの姿が見えないので、監督が聞いたところ、ナタポンさんが佐藤さんからのメッセージを伝えています。

1の【チャレンジ！】は、監督とナタポンさんとのやり取りの中で、学習項目「～と言っていました」が使われています。【チャレンジ！】での会話はあるまとまりを持った談話になっているので、【チャレンジ！】では学習項目が入ったコマイラストだけで終わらず、何と言ったらいいかチャレンジしてもらってください。

学習項目 ～と言っていました

### 言ってみよう 別冊1

「～と言っていました」の～の接続の部分は普通形になること、な形容詞/名詞では「だ」を加えることを注意するように言ってください。

ここでは単文の練習ですが、ただの代入練習にならないような工夫があったらいいと思います。

練習1では、「誰が言っていますか」とか「誰が休みますか」というようなことを学生に問うて文の意味をしっかりと理解してもらえるようにしています。

こんなふうに

「誰かに聞いたことを伝える」ということがわかるようにしたいと思って、授業で使う ppt をこのようにして練習をしてみました。

まず、ワンさんがパクさんに話した様子を見せて (a)、先生がパクさんに聞いた状況を示し (b)、このときに(c)のように答えると示してみました。

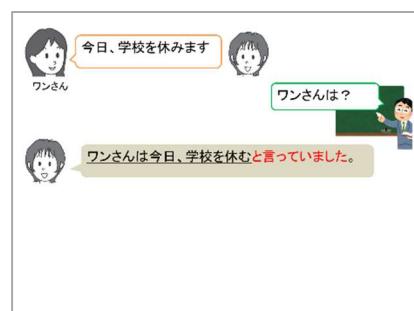
a



b



c



## チャレンジ!

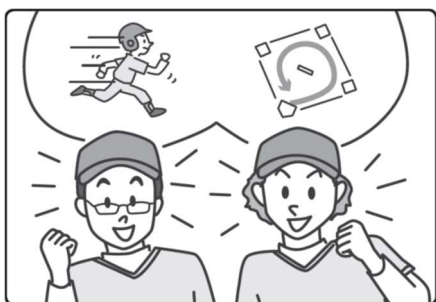
状況イラスト:

試合が始まりました。

チームメイトや観客が声援を送っています。



2



コマイラスト: ナタポンさんのチームメイトがボールを打ちました。ナタポンさんと他のチームメイトは応援をしています。「回ります」は新出語彙です。学習者が「がんばって」「早く走ってください」などと言ったら、右のイラストの「→」をなぞるなどして、「回ります」を紹介してください。それから、CD を聞くと、「走れ!」「回れ!」と聞こえてきます。

学習項目 命令形

言ってみよう 別冊 ②

練習 1 は命令形の練習をします。

口頭練習だけではなく、練習プリントを用いて、形の確認をすると、目で確認することができていいと思います。

こんなふうに

授業ではこのようなプリントを用いて練習をしました。

第11課ST2 命令形・禁止

1グループ			2グループ		
買う	買え	買うな	食べる	食べろ	食べな
寝る			寝る		
行く			持てる		
書く			止める		
遊ぶ			見せる		
話す			負ける		
出す			締める		
落とす			いる		
持つ			起きる		
持つ			見る		
打つ			離れる		
休む					
飲む					
帰る			3グループ		
取る			する		
走る			始める		
留る			来る		
待つ			待つて来る		
か入る					
がんばる					

チャレンジ！

4



コマイラスト：応援席にいる人が選手にボールを落とすなと声をかけています。

学習項目 禁止

言ってみよう 別冊 ③

言ってみよう 本冊 ② ③

ここでは、野球、サッカーの試合でのイラストが描かれていますが、それ以外でも学習者の好きなスポーツに合わせて、たとえばバスケットボールなどのイラストを使って、「入れ！」とか、マラソンで「最後まであきらめるな」などと練習するのもいいと思います。

こんなふうに

授業では①の「命令形」と②の「禁止」は、スポーツの応援のときによく使いますねと学習者に話しています。授業では、学生たちから実際に「早くしろ」と言われたとか言われているのを聞いたとか、店長はやさしいからそんなことは言わないなど話してくれたこともありました。

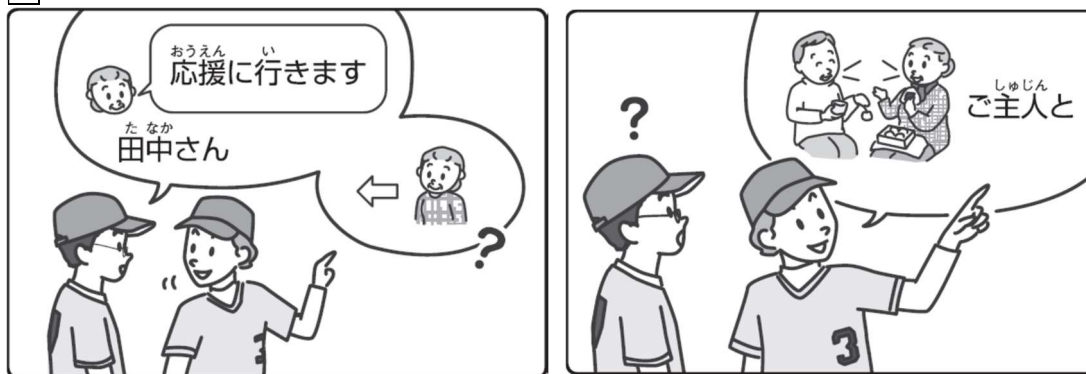
こんなふうに

本冊の練習のあとで、グループになって、あるスポーツの試合を応援しているシーンを演じてもらいました。他のグループはそのグループの応援の様子を見て、どんなスポーツを見ながら応援しているかを当てるといったゲームをしました。スポーツによっては未習の言葉を使うことになることもありましたが、そのときに、板書をしてクラス全体で意味を

確認しながら、ゲームを進めていきました。応援はみんなでしたほうが盛り上がると思います。

チャレンジ！

4



コマイラスト：田中さんは先日、今日の試合に行くと言っていました。ナタポンさんは田中さんの姿を見かけないので、チームメイトに聞いています。チームメイトは観客席のほうを見て、お弁当を食べながらご主人と話している田中さんを指さしています。

【チャレンジ！】では、教師はイラストを指さすだけでなく、どんな日本語を使ったらいいか、ヒントを出したりしながら、学習者が習ったことを使えるようにしてください。2枚目のコマイラストでは、「話している」だけでなく「お弁当を食べている」様子にも注目するようにしてください。

学習項目 Vながら、～（同時進行）

言ってみよう 別冊 4

例えば、「本を読みながらお風呂に入ります」も「お風呂に入りながら本を読んでいます」もどちらもいいけれど、意味は違うことを紹介しています。文を言ってもらってから、どちらが大切か答えてもらっています。

言ってみよう 本冊 4

こんなふうに

クラスによってはA、Bの一回のやり取りだけではなく、もう少し会話を加えることをしてみてもいいと思います。例えば、例)なら

A：田中さんはどこですか。

B: あそこでお茶を飲みながら、話しています。

というやり取りに

A: あっ、本当だ。田中さーん！こんにちは。今日はありがとうございます。

田中: Aさん、がんばってね。

などと考えることもできます。

③では、

A: 中村さんはどこにいますか。

B: あそこで音楽を聞きながら走っていますよ。

A: あっ、本当だ。中村さーん！そろそろ試合が始まりますよ。

とか、いろいろ考えることができます。イラストを見ながら自由に会話を考えることを促してみてください。

### やってみよう

ST2の「できること」は「人から聞いたことを伝えることができる。また、スポーツの応援ができる」です。



CDを聞く前に、㉑㉒ ㉓のイラストを見ながら、どんな様子を表しているかを確認するといいと思います。

■ ㉑㉒ ㉓のイラストを用いて、ペアで話します。


丸人間のイラストなので、自由度が高くてとても楽しそうにいろいろな会話を考えてくれます。学習者が考えた会話の内容では、野球の試合/サッカーの試合の応援、コンサートの声援、スピーチ大会の応援、デモなどがありました。中には、好きなアイドルの応援や好きなスポーツ観戦で会話をやり取りしているのも見られました。㉓では、「見てください、あの人、かっこいいですね。あ、あの方は〇〇さんの恋人です。恋人も見に来ていますね」とか、学生たちは自由に話していました。

こんなふうに

授業では、グループごとに3枚のカード（イラスト）を渡して、順番も自由に会話を考えて話してもらいます。話したあとで、どんな会話になったかを下のシートに書きました。

やってみよう

Q: どこへ何をしに来ましたか。 \_\_\_\_\_



\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## できる！

この課の行動目標は、「地域の日本人に、自分の最近の生活や今困っていることなどについて話したり、地域の活動に参加したりすることができる」です。これまでも地域の活動に参加している学習者もいるかもしれませんが、なかなか機会がなく参加できていない学習者がいたら、ぜひこれをきっかけに参加してみることを勧めてください。きっと新しい出会いになると思います。以下、【できる！】の実践例をご紹介します。

### 【できる！】実践例

- ・ ボランティア交流サークルに参加して、他のボランティアの方々と交流する。
- ・ 大学生とビジターセッションを行う。
- ・ 地元のボランティアセンターのイベントに参加して、参加者と交流する。
- ・ ボランティアの方々を教室に招いて、ビジターセッションを行う。
- ・ 地域の国際交流協会の方を招いて、ビジターセッション。
- ・ 地域の秋祭りにお神輿の担ぎ手として参加する。
- ・ アルバイト先の日本人に話しかける。

## 話読聞書

ここでのテーマは「忘れられない言葉」です。【話読聞書】では、教科書の右側に書かれている吹き出しを用いて、学習者の話を引き出していただきたいと思います。誰かから言われた「忘れられない言葉」がどうしても出てこなかったりなかったりしたときは、『大切にしている言葉』はないですか』と問いかけています。誰から言われた言葉でもいいし、ドラマのセリフとか歌の歌詞、好きな日本語などいろいろ広がります。もし、その言葉が母語だった場合、意味の説明を日本語でももらいます。先生の「忘れられない言葉」を紹介してください。教室では、うーん、うーん、考えたり、グループで話したりしているうちに、あっ、これにしようとか、思い出したりしているのが見られます。

こんなふうに

話したあとで、話した内容を書くことを宿題にします。清書したあとで、別のグループに分かれて再度話すということもしています。